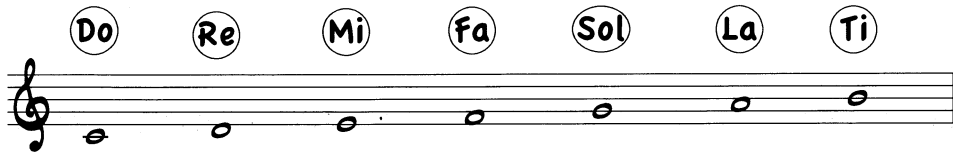


3. 12音ソルフェージュ

ソルフェージュには、国によっていくつかバリエーションがあるが、ここではアメリカなど英語圏で使われている代表的なものを扱う。

Cメジャー・スケール上に表れる7つの音のソルフェージュ。



移動ドでは主音（トニック）が常に Do になる。Fメジャー・スケールの例。



12音ソルフェージュはいたって簡単。

#が付く場合は母音を「i」に変える。

bが付く場合は母音を「e」に変える。（レbのみ例外）

Two musical staves illustrating the 12-tone solfège system. The first staff shows the ascending scale with syllables: Do, Di, Re, Ri, Mi, Fa, Fi, Sol, Si, La, Li, Ti. The second staff shows the descending scale with syllables: Do, Ti, Te, La, Le, Sol, Se, Fa, Mi, Me, Re, Ra. An arrow points from 'Ti' in the first staff to 'Ra' in the second staff, labeled '例外' (exception).

12音ソルフェージュはカタカナで Re と Le、Ri と Li、La と Ra が区別できないため、カタカナ表記しない。

日本でこのシステムがほとんど使われていないのは、カナ表記できないことと、日本人がRとLを聞き分けられないためと思われる。実際には、人に聴かせるものではないので、自分の中で区別ができていれば問題はない。または、RとLの区別をマスターする絶好のチャンスと考えて訓練するのもいい。

※ Mi#, Fa b, Ti#, Do b, ダブル#, ダブルbなどの場合のソルフェージュもいくつかあるが、ここでは使わない。